

スポーツ交流を生かした
地域メディア構想
(ホワイトスペース特区先行モデル)

平成22年9月10日
株式会社湘南ベルマーレ

1. ホワイトスペース特区での実施概要



総合型地域スポーツクラブとしての湘南ベルマーレ

平塚市や藤沢市・小田原市などの湘南地区をホームタウンとし、サッカーだけでなく、ビーチバレーやフットサル、トライアスロン、ソフトボールなどの「総合型スポーツクラブ」として活動している。



スポーツ交流を生かした地域メディア構想

HPやフリーペーパーなどで地域住民への情報発信を実施中だが、さらなる情報発信メディアを確立したい。特に首都圏近郊のクラブは、TVや新聞等での露出が少ないという大きな課題がある。

ホワイトスペースを活用して地域メディアを創ることで、クラブの情報発信だけでなく、総合型スポーツクラブという特徴を生かしたコンテンツ配信で、スポーツ交流による地域活性化も期待



ホワイトスペース特区での実施内容

エリアワンセグを中心とし、技術検討やサービス検証を実施。平塚競技場をはじめとする、平塚市の主要拠点や地域イベント会場でサービスを実施し、地域メディアとしての可能性を検証する。

2. 実施計画

平塚競技場におけるエリアワンセグからスタート！

- 9月18日のJ1リーグ戦にて実証実験開始（予定）
- クラブ情報、スタジアム案内などを配信
- 電波技術の検証と視聴動向の調査を実施



3. 今後の展望

フェーズ1

平塚競技場での技術検証と視聴動向調査

- 電波技術検証と、視聴動向・需要性の検証
- エリアワンセグの告知と視聴文化の醸成

フェーズ2

他の主要スポット含めた地域メディア検証

- 駅・商店街や地域イベントでの実証実験
- 総合的な地域メディアとしてのサービス検証

フェーズ3

本格サービス開始、横展開

- 地域メディアとして本格サービスの開始
- 湘南地区やJリーグ各クラブなどへの横展開